

頭痛について

こじま脳神経外科・内科クリニック
236-0042 横浜市金沢区釜利谷東6-21-1
電話 045-791-3177

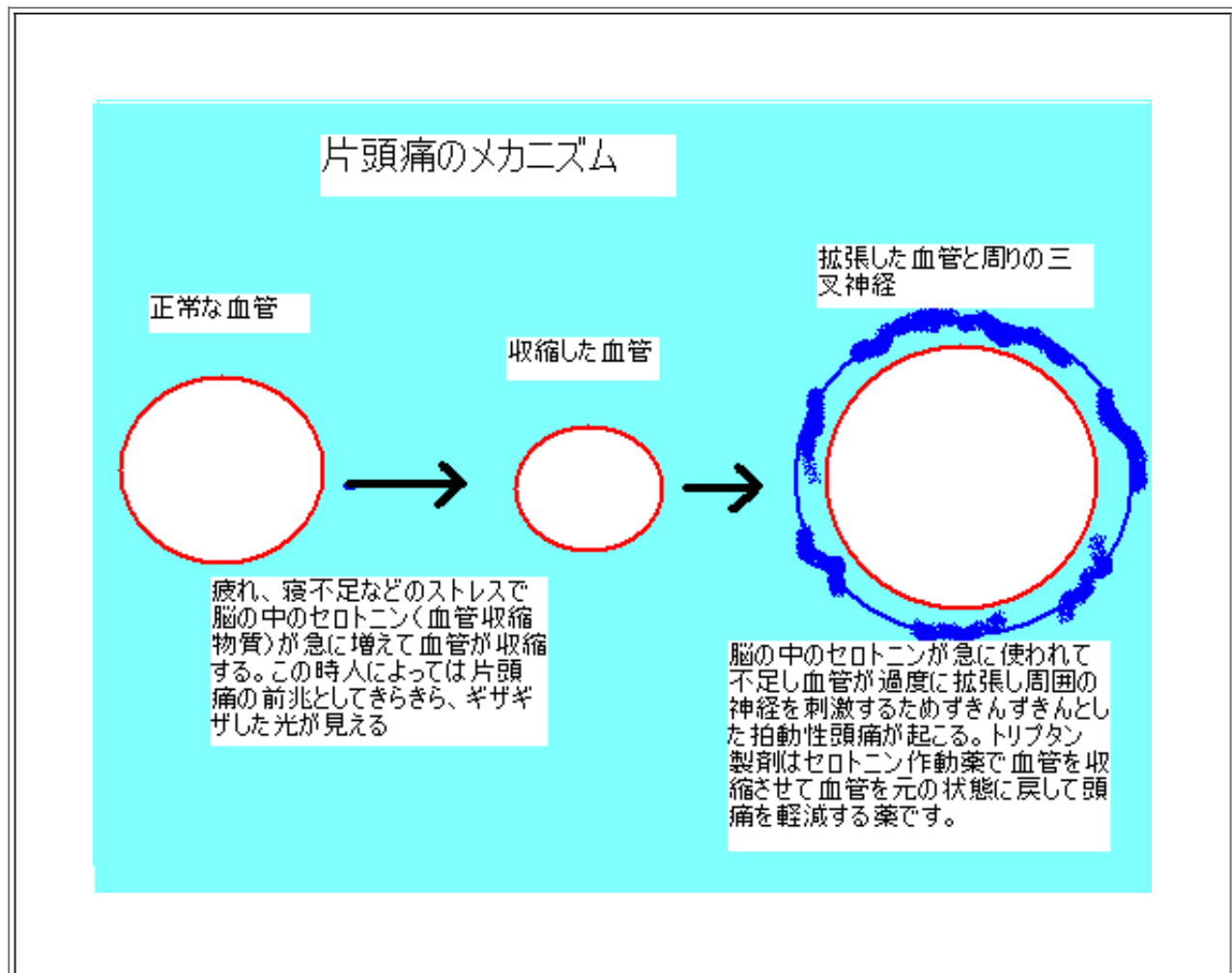
頭痛の種類

A、二次性頭痛

- 1、くも膜下出血 突然の頭痛、吐き気を伴うことが多い。もっとも危険な頭痛。
- 2、脳腫瘍 頭痛(鈍痛)以外に嘔吐、吐き気、てんかん、手足の運動障害を伴うことが多い。
- 3、髄膜炎 頭痛(ずきずき感)以外に発熱、首の痛みを伴う
- 4、慢性硬膜下血腫 頭痛(重い感じ)、歩行障害などが頭部打撲後1ヶ月程度で出現する。
- 5、脳出血 突然の頭痛と半身の運動障害や嘔吐が見られます。
- 6、大後頭神経痛 後頭部がずきずき痛みときに吐き気もあります。肩こり、首の痛みを伴うことが多い。
- 7、後耳介神経痛 耳たぶの後ろがずきずき痛む
- 8、低髄液圧症候群(髄液漏出性頭痛) 原因は不明のこともあります。原因は不明のこともありますが鞭打ち、転落事故などで脊髄の硬膜から髄液が漏れて脳の圧が低下するために頭痛が起こります。外傷後締め付けられる頭痛が頻繁にあり特に長く立っているとに生じ安静で軽減する頭痛。長く病院にかかっても原因が分からず治療でも頭痛が軽減しないことが多いです。この場合はぜひ脳外科を受診してください。
- 9、薬剤性頭痛 頭痛のためにイブ、ナロンエース、パファリンなどを週2回以上服用しそれが3ヶ月継続して毎日の様に頭痛があれば薬剤性頭痛を考えます。

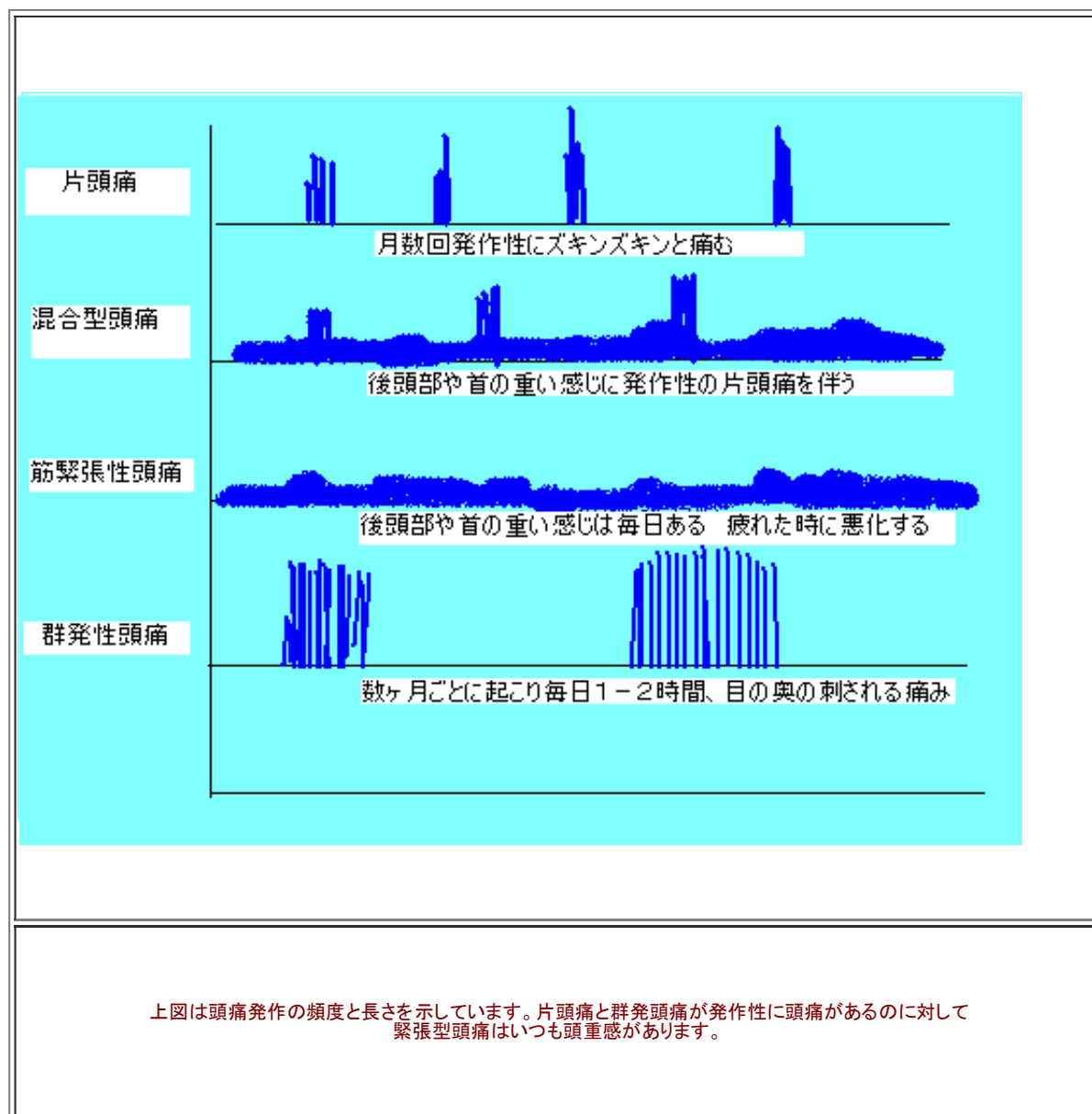
B、一次性頭痛

- 1、筋収縮性頭痛 後頭部から首にかけて締め付けられる痛み、肩こりを伴うことが多い。同じ姿勢の仕事や寝不足などの時に多く見られます。
- 2、片頭痛 前兆に視野にきらきら光るものが出た後に拍動性頭痛ずきんずきん、吐き気を伴うことが多い。ストレスや生理が引き金になることが多い。痛みは数時間から3日ほど続くことがある。動くと痛みが強くなり、光や音に過敏になる。家族歴で両親などの血縁の方にも片頭痛が見られることが多い。



片頭痛は血管が収縮したときに3割程度の人は前兆としてちかちか、ぎざぎざの模様が見えて30分程度してからずきんずきんした拍動性頭痛があります。拍動性頭痛は血管が拡張したために血管の周りの三叉神経を刺激して頭痛になります。血管が元の大きさにもどるまで頭痛が続きます。場合によっては3日も残ることがあります。

- 3、群発頭痛 1-2時間の激しい頭痛(キリで刺されるくらい)が1-2ヶ月間にわたって群発地震のように起こる。頭痛の部位は目の奥や側頭部で、目の充血や涙を伴うこともあります。
- 4、穿痛様頭痛 ずきっと刺されるような痛み
- 5、特殊な片頭痛 入浴頭痛、性交時頭痛、飛行機頭痛、てんかん頭痛 笑い頭痛
あくび頭痛 洗髪頭痛



* : 一次性頭痛か二次性頭痛かの鑑別には予約なしでもすぐできるCT検査が有効です。MRI検査も有効ですが予約が必要でしかも1ヶ月先になる可能性があるためとりあえずCT検査をお勧めします。検査を受けてから薬の治療をするようにしてください。脳出血や脳腫瘍があるのに頭痛止めの内服で治療される場合も見受けられます。

アロデニアについて

片頭痛の大発作に伴う症状: めまい、手足しびれ、圧迫感など
これらは片頭痛に伴う症状で他の病気ではありません。
できるだけ大発作を起こさないように早めに頓服のトリプタン製剤を内服してください。

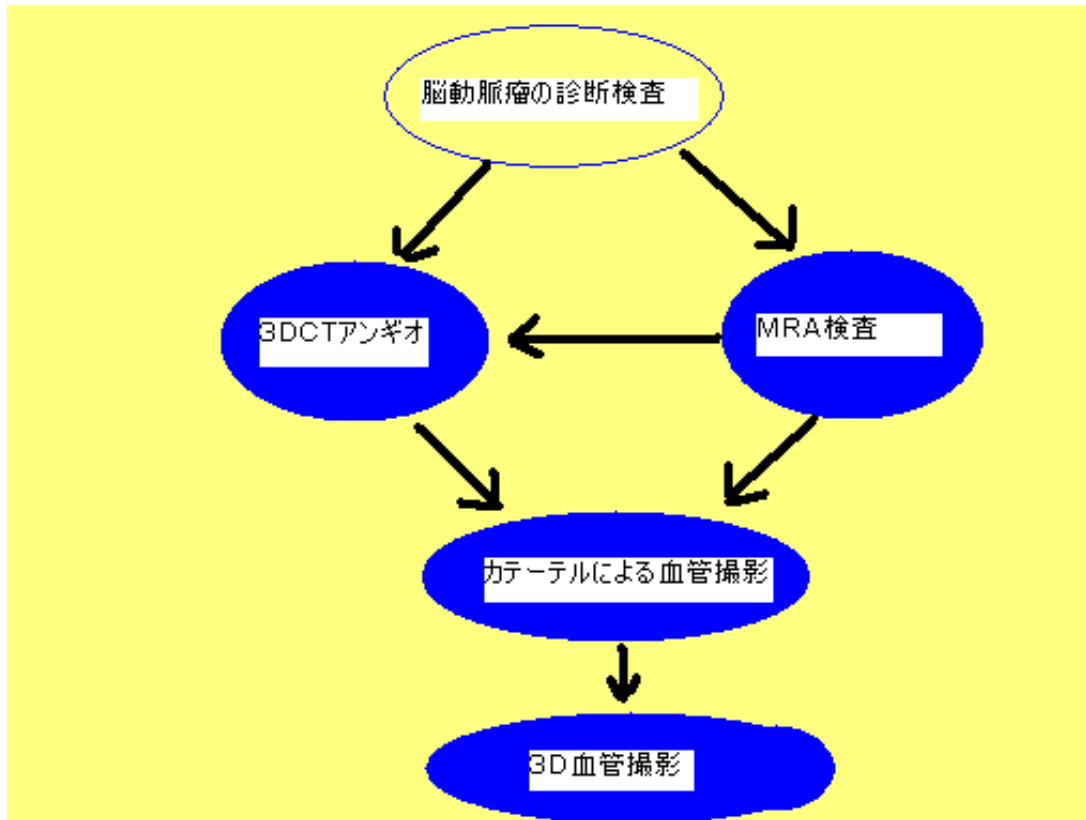
各種頭痛の特徴

	頭痛の頻度	頭痛の持続時間
片頭痛	1-15回/月	4-72時間
群発頭痛	1-8回/日	15-180分
慢性発作性片側頭痛	5-40回/日	5-45分
一次性穿刺様頭痛	1-100回/日	1-20秒

脳動脈瘤について

脳動脈瘤が破裂したのがくも膜下出血です。未破裂脳動脈瘤の頻度は2-4%と報告されています。突然の頭痛や親族にくも膜下出血になった方がおられる人はぜひ脳の精密検査をお受けください。検査としてはヘリカルCTによる3DCTアンギオが有用です。

脳ドックなどのMRA検査で脳動脈瘤が疑われたときの確認検査としても3DCTアンギオは有用です。



3DCTアンギオ



腕の静脈より造影剤を80cc注入してからCTを撮りコンピューターで画像を3Dに再構成します。2mm程度の脳動脈瘤まで発見可能です。

造影剤の副作用・同意書

下の新規ページをクリックしてください。

